

2 子ども達の状況に応じた教育や心の教育の推進

【主な取組】

(1) 心の教育の充実

● 道徳教育の充実

- ・ 道徳の時間が「特別の教科 道徳」となり、児童生徒が自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めることができるよう、校内研修を計画的に実施します。

● 読書活動の充実

- ・ 児童生徒の考える力を培い、豊かな感性や情操を醸成し、幅広い知識を身に付けさせるため、
*読書活動推進員を配置し、読書の習慣化を図る取組を行います。
- ・ 学校図書館が児童生徒の「心の居場所」としての機能を果たすとともに、読書好きの児童生徒を増やすため、学校図書館の環境整備及び書籍更新を行い、「日本一の学校図書館」を目指します。
- ・ 読書活動推進員や地域ボランティアによる本の読み聞かせや図書委員会による読書啓発のイベントを開催します。



日本一の学校図書館

(2) 子どもが安心して通える学校づくりの推進

● いじめの問題への対応

- ・ いじめの問題の解決に向け、廿日市市いじめ防止基本方針に基づき、いじめの未然防止、早期発見・早期対応、組織的な対応等の取組を推進します。

● 「*つながり支援プロジェクト」の推進

- ・ 児童生徒間のかかわりを意図的に設定し、お互いを認め合える集団づくりを進め、*自己有用感を高めることによって、いじめ等の問題行動の未然防止を図るとともに、学ぶ意欲を高めます。

● 教育相談体制の充実

- ・ 教育委員会事務局に*生徒指導指導員、*生徒指導相談員を配置するとともに、中学校区に*スクールソーシャルワーカーを配置し、専門的な見地から多様な相談ニーズに応じます。
- ・ *廿日市市こども相談室に*青少年指導員、*スクールカウンセラーを配置し、不登校児童生徒に対して学習支援や社会的自立に向けた取組を行うとともに、相談支援拠点を山崎本社みんなのあいプラザに移転して、福祉と教育が連携したワンストップでの相談体制を築きます。
- ・ 各小・中学校に*子どもつながり支援員を配置し、児童生徒の心の悩みや身近な問題に対応します。
- ・ 民間*フリースクールをはじめとする不登校の児童生徒の受け皿となる施設や学校及び各関係機関間での連携を図ります。

(3) 子育てサポート体制の充実

● 一人ひとりの自立に向けた特別支援教育の充実

- ・ 庁内横断組織として*福育会議を設け、生活・福祉部門と連携します。保護者の相談を一元的に受け、横断した対応を図るとともに、就学前からの発育歴を踏まえた個々の子どもにとって最適な教育が受けられる仕組みづくりを検討します。
- ・ 子どもの学校生活をサポートするため、*特別支援教育アドバイザーを配置し、特別支援教育の充実を図るとともに、福祉と連携して放課後や学校休業日でも、子どもが安全に活動できる場の確保に努めます。

(4) 児童生徒の自主的な活動の推進

● 児童・生徒会活動の活性化

- ・ 今日的な課題をテーマとした協議を通して、市内の生徒会活動の活性化を図るとともに、身のまわりの問題を自らの手で解決しようとする生徒の自主的・実践的な態度を育む「*生徒会サミット」を実施します。
- ・ 各小学校では、児童会活動の活性化を図ります。



生徒会サミット

(5) 文化・スポーツを通じた青少年の健全育成

● *外部指導者の活用

- ・ 青少年のスポーツに対する様々なニーズに対応できるように、専門的な知識を有する外部指導者の活用に取り組みます。

● 文化活動・スポーツ活動の促進

- 文化活動やスポーツ活動を通して青少年の健全育成を図るため、はつかいち文化スポーツ市長賞を交付します。

【指標】

	指 標	現状値 (R元年度)	目標値 (R7年度)
(1)	道徳の授業で、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる児童生徒の割合 (全国学力・学習状況調査)	小 80.9% 中 76.6%	小 85.0% 中 85.0%
	地域や社会をよくするために何をすべきか考える児童生徒の割合 (全国学力・学習状況調査)	小 54.5% 中 39.4%	小 65.0% 中 50.0%
	1ヵ月に1冊も本を読まない児童生徒の割合 (児童生徒学習意識等調査)	小 8.0% 中 16.9%	小 2.0% 中 8.0%
(2)	自分の良さは、周りから認められていると回答した児童・生徒の割合 (広島県※「基礎・基本」定着状況調査)	小 74.6% 中 72.2%	小 75.0% 中 75.0%
	不登校児童・生徒の割合 (学校教育課調べ)	小 0.76% 中 4.04%	小 0.55% 中 3.73%
	不登校児童生徒のうち、こども相談室やフリースクール等に通室した者の割合	17.3%	25.0%
(3)	特別支援教育アドバイザーによる巡回相談の実施率 年間小学校 425 回 (1校あたり 25 回) 年間中学校 100 回 (1校あたり 10 回) (特別支援教育アドバイザー実績簿)	小 100% 中 96.0%	小 100% 中 100%
(4)	学級や学校、地域をよくするために何をすべきかを考えたことがある生徒の割合(参加者)	100%	100%
(5)	ジュニアリーダー養成講座実施回数	1 回	1 回
	ジュニアリーダー養成講座参加種目数	5 種目	7 種目
	はつかいち文化・スポーツ市長賞受賞者件数	9 件	14 件